

# ごあいさつ



いび川農業協同組合  
代表理事組合長

堀 尾 茂 之

平素よりJAいび川の各事業に格別のご利用を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成30年度の日本経済は、外需主導で6年あまりに及び緩やかなプラス成長を維持してきたものの、米中貿易摩擦の激化等による世界経済の減速懸念により、鉱工業生産の減少、消費支出低迷等の状況にあり、景気は後退局面にあると思われます。また、金融政策は、経済・消費者物価動向を踏まえ現在の超緩和政策が当面の間継続されることが想定され、国内金利は低位での推移が見込まれることから、JA等における利鞘が縮小し収益環境が厳しさを増しています。

農政におきましては、通商交渉で平成30年12月アメリカを除くTPP加盟11か国での新協定、平成31年2月欧州連合との経済連携協定(EPA)が発効し、発効後の国内農業への影響が懸念されます。また、厳しさを増す日米2国間交渉(FTA)の行方も注視すべき状況にあります。国内の農業環境は、農業従事者の高齢化及び後継者・担い手不足が深刻化する中、農業経営の大規模化・法人化等農業構造の変化が進行しています。

このような状況の中、JAいび川は、第8次中期経営計画(平成28年~30年度)の最終年度に当たり、JA改革の目標年度(平成30年度)に於ける農業者の所得増大、地域活性化の完遂に向け積極的に取り組みを進めました。特に、前年度に建設した担い手サポートセンターを各種研修会々場等JAいび川の営農拠点として活用し、新規就農者育成、後継者・担い手支援並びにサポートいびとの連携強化に努め、揖斐郡の農業振興を図って参りました。

JAいび川は第9次中期経営計画を策定しました。「JAの総合力を発揮し『地域に信頼され、必要とされるJA』を目指します」を経営理念に、「農業者の所得増大の実現」「協同による地域活性化への貢献」「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」に役職員が丸となって全力を尽くす所存でございます。

ここに「2019年ディスクロージャー誌」を作成いたしました。是非ご一読いただき、JAいび川への理解を深めていただきますとともに、今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月